

よえもん

論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)



《 第75号 》 (2021年10月発行)

令和3年度展示より
「藤樹書院」

シリーズ
よえもん



「論語」学而第一之十六

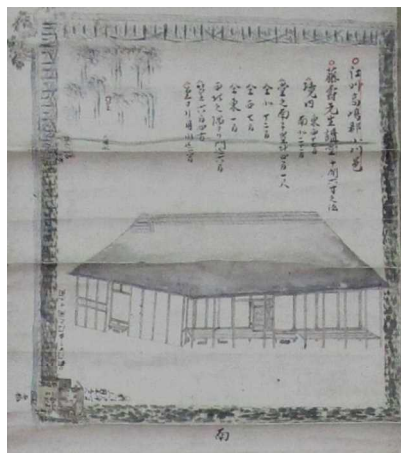
書 淵田瑞穂さん

人の己を
知らざるを患えず
人を知らざるを
患うるなり

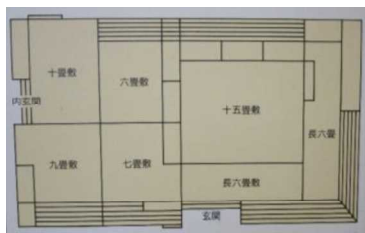
記念館では、「史跡指定100周年記念 藤樹書院跡」の展示を3月31日まで開催しています。藤樹書院跡は長い歴史の中で大切に守り伝えられてきた、藤樹先生の貴重な文化財として大正11年(1922)3月8日に、国の史跡指定を受けました。

藤樹先生がはじめ自宅で私塾を開き、のちに33歳のときその南側に建てた会所が手狭になり、学問も深まり門人も多くなってきたので、新しい講堂を建てることになりました。慶安元年(1648)2月、40歳のとき、藤樹書院が完成しました。

藤樹書院は、葺ぶきで7つの部屋がありました。南に縁側があり、玄関をあがると15畳と6畳の講堂があり、応接の間や台所もあるりっぱな建物でした。門人たちとの新しい教育の場ができあがり、藤樹先生と門人たちは喜び合いました。



藤樹書院旧図



藤樹書院間取図

「他の人が自分のことを知ってくれないと気にかけるのではなく、自分が他の人のことを知らないことを気にかけるほうがよい。」という意味です。

「木を見て森を見ず」という言葉があるように、私たちは細かいことや自分のことばかりに目が向いて、全体のことや、他の人たちへの心配りを忘れてしまいがちです。例えば人と会話をするとき、自分はきちんと相手のことや話の中身を理解しているでしょうか？

もう一度振り返るきっかけにしてみたいかがでしょう。



* 記念館だより *

8月27日から9月いっぱいまで、「緊急事態宣言」の発令により記念館は休館となり、皆さんにはご迷惑をおかけしました。この間、市内外から多くの方が訪ねて来られ、休館とわかると本当に残念そうにしておられました。10月に入り、今は開館しています。コロナウイルスの感染拡大が終息しませんが、できる範囲で来館いただき直接展示物を見ていただいたり、書物やビデオ等で学んでいただいたりするとうれしいです。今月も多くの小中学生が訪問されます。お待ちしております。



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

